



日本財団助成事業

障害者の巣立ちを促す地域生活支援

(略称：巣立ちプロジェクト)

このプロジェクトでは4つの事業を柱に取り組みます。

- ① 障害児者の家族等に関する啓発活動 ～親亡き後になる前の研修、意思決定支援など
- ② 意思決定支援者養成講座 ～障害者の意思決定支援
- ③ ネットワーク構築モデル ～弁護士や相談支援専門員による支援者ネットワーク構築
- ④ よろず相談所開設 ～親亡き後に関する相談



『障害者の巣立ちを促す地域生活支援』 啓発・講演

生きる苦勞を取り戻す ～共に研究するという生き方と暮らし方～

参加無料

2023年3月4日(土) 13:30～16:00

北九州市立大学 北方キャンパス 本館C302教室

〒802-8577 北九州市小倉南区北方4-2-1

※キャンパス内には一般用パーキングはございません。会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。お車でのご来場の場合は近隣にコインパーキングがございますので、そちらをご利用ください。



アクセスマップ



むかいやち いくよし
講師/向谷地 生良 (社福)浦河べてるの家 理事長

プロフィール

1978年4月より北海道日高にある総合病院浦河赤十字病院医療社会事業部に精神科専属のソーシャルワーカーとして勤務。翌年4月より、町の古い教会堂を拠点として精神障害を持つメンバーと共に、当事者の交流活動、共同生活を開始する。1984年4月に「浦河べてるの家」を設立。2001年に「当事者研究」を創案し、メンバーの自助、スタッフの相談支援に取り入れる。

2003年4月より、北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科で教鞭をとりながら、べてるの家がある浦河と全国各地をメンバーとともに「当事者研究」の普及をめざして飛び回る毎日過ごしている。

2020年4月、北海道医療大学先端研究推進センターに「当事者研究領域」が創設され、ますます活動の幅が広がっている。



浦河べてるの家とは

べてるの家は、1984年に設立された北海道浦河町にある精神障害等をかかえた当事者の地域活動拠点です。べてるの家は、有限会社福祉ショップべてる、社会福祉法人浦河べてるの家、NPO法人セルフサポートセンター浦河などの活動があり、総体として「べてる」と呼ばれています。

べてるとは、そこで暮らす当事者達にとっては、生活共同体、働く場としての共同体、ケアの共同体という3つの性格を有しており100名以上のメンバーが地域で暮らしています。

たくさんの方の参加をお待ちしております。但し、コロナ禍でもあり、100名を目処にしております。人数に達した場合は、お断りの連絡をさせていただきます。

主催/障害者の巣立ちを促す地域生活支援プロジェクトチーム

後援/北九州市

協働/あかつき会家族会(旧称:北九州精神障がい者家族会連合会)・北九州市手をつなぐ育成会(親の会)有志・一般社団法人福岡県精神保健福祉士協会

北九州地区精神保健福祉士協会・一般社団法人Q-ACT・NPO法人ネットワークぶらす北九州・公益社団法人北九州市障害者相談支援事業協会・NPO法人nest

●お問い合わせ・お申し込みは

プロジェクトチームマネージャー 佐藤みずほ (NPO法人 nest) まで

Mobile 080-3905-7019

E-mail mizuho.0905@outlook.jp Fax 093-582-7018

2023年3月4日 『障害者の巣立ちを促す地域生活支援』 啓発・講演

生きる苦勞を取り戻す

～共に研究するという生き方と暮らし方～

【参加申込書】

FAX 送信先 **093-582-7018**

| 氏名 | 住所 | 連絡先 | 特記 |
|----|----|-----|----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

※参加に際して、配慮・準備すべきこと等があればご記入ください。
(例えば、要約筆記・手話・zoom参加の希望等)